

セメント事業で培った信頼と技術を基盤に、

豊かな社会の維持・発展に貢献します。

1907年（明治40年）11月、当社は磐城セメント株式会社として横浜に設立され、翌年には現在の福島県いわき市四倉町に四倉工業所を建設しセメント製造事業をスタートさせました。1963年（昭和38年）10月、住友セメント株式会社と社名変更し、住友グループに加入、翌年白水会に加盟しました。その後、1994年（平成6年）10月、大阪セメント株式会社と合併して住友大阪セメント株式会社が発足し、今日に至っています。創業以来百有余

年、一貫してセメントの供給を通じて、社会インフラ整備という公的な事業の一端を担ってまいりました。また、現在ではセメント事業から派生した鉱産品事業、建材事業、独自のオプトエレクトロニクスやナノテクノロジーを活かした光電子事業、新材料事業、電池材料事業といった多様な事業展開を行っています。

住友セメント

- 1907年 磐城セメント(株) 設立
- 1925年 日出セメント(株)を合併 (現在の八戸セメント(株))
- 1940年 富国セメント(株)を合併 (現在の栃木工場)
- 1960年 川崎セメント(株)を合併 (現在の岐阜工場)
- 1963年 住友セメント(株)に社名変更 住友グループに加入
- 1966年 赤穂工場を新設



住友大阪セメント

- 1994年 住友セメント(株)と大阪セメント(株)が合併 商号を住友大阪セメント(株)に変更
- 2007年 中国/雲南省の 雲南昆鋼嘉華水泥建材に出資 (創立100周年)
- 2012年 東日本大震災・広域災害廃棄物の受け入れ処理を開始
- 2020年 2020 - 2022年度中期経営計画を発表 サステナブル対策委員会を設置

**企業価値の向上と
持続可能な社会の
実現を目指す**

大阪セメント

- 1916年 大阪窯業(株) セメント部が発足
- 1926年 大阪窯業セメント(株)を設立
- 1952年 伊吹工場を新設 (2003年生産中止)
- 1961年 高知工場を新設
- 1963年 大阪セメント(株)に社名変更



1900

1990 2000

製品・技術

- 1927年 日本最初の早強セメント 製造販売開始
- 1949年 日本最初の 生コンクリート製造開始
- 1954年 日本最初の大型レポール式 キルンを採用して浜松工場を新設
- 2002年 新規技術研究所 「ナノ・テラ技術センター」竣工
- 2009年 栃木工場 バイオマス発電設備の稼働
- 2012年 ベトナムにリチウムイオン電池 正極材料の新工場竣工



早強セメントを利用した 大阪市地下鉄工事



業平橋工場



浜松工場



新規技術研究所



バイオマス発電設備



ベトナム工場

企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指します。

